

Title: 183



谷澤 絢加
3年間の集大成をア
ジアで撮影してきます!!
不安なことだけで
すが、がんばりま
す。

主に都市を中心に行
動します。撮影方法
はスナップでパキュ
ーム。

● 最近のエントリー

- ☞ [183+1 2=195](#)
(2012.09.26)
- ☞ [183+7=190](#)
(2012.09.21)
- ☞ [183+6=189](#)
(2012.09.20)
- ☞ [183+4=187: わずれるこ
とを恐れるな。](#)
(2012.09.18)

● アーカイブ

- ☞ [2012年10月](#)
- ☞ [2012年09月](#)
- ☞ [2012年08月](#)
- ☞ [2012年07月](#)
- ☞ [2012年06月](#)
- ☞ [2012年05月](#)
- ☞ [2012年04月](#)
- ☞ [2012年03月](#)

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

- ☞ [インド/プリーより](#)
- ☞ [インド/マイソールより](#)
- ☞ [カンボジア/シェムリアッ
プより](#)
- ☞ [カンボジア/プノンペンよ
り](#)
- ☞ [シンガポールより](#)
- ☞ [タイ/サンクラブリー](#)
- ☞ [タイ/バンコクより](#)
- ☞ [ベトナム/ハノイより](#)
- ☞ [ベトナム/ホーチミンより](#)
- ☞ [マレーシア/KLより](#)
- ☞ [マレーシア/PJより](#)
- ☞ [マレーシア/マラッカより](#)
- ☞ [台湾/九份より](#)
- ☞ [台湾/台北より](#)
- ☞ [台湾/高雄より](#)
- ☞ [日本/東京より](#)
- ☞ [海の上/船の中より](#)
- ☞ [韓国/ソウルより](#)
- ☞ [韓国/釜山より](#)

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS
Your Vision, Our Future



RSS 2.0

183 > 2012年09月 アーカイブ

12.09.26

183+ 1 2=195

[Tweet](#)[Check](#)

私はあまりにも知らない事が多すぎた。

半年間東南アジアの旅に出て、感じた事。

日本の問題、世界の問題。
当たり前だと思っていた日本の生活は当たり前では無かった事。
情報としては知っていたし、知識としては多少持っていた日本以外の国の事。

船がしいぐらいに秋は何も知らずに二十歳を過ぎくじまった事。

それゆえに、戸惑った半年間。
それゆえに、戸惑った帰国後。

旅の中で知らない事が多すぎて、吸収する事も多かったけれど、元のベースが知らない事から始まっているから、体験して知っていった事の処理の仕方がわからなかった帰国後。

半年前の日常が非日常になり、半年間の日常が非日常になったときの事。

日本に帰ってきて、安心したというよりも、戸惑いの方が多すぎてどう過ごしたら良いのかわからず、どこに居て何をしたら良いのかわからなかった帰国後一週間の事。

かっこつけたって、かっこつかないし、
情けない感情は実際に生まれている訳で、

全力でこの時間を吸収する為には、全部をさらけ出そうと決めた旅の途中。



日本に帰ってきた途端に結ったって意味がなくて、それを続けたいと何も得られなかった事になってしまうと思う今。
半年前の自分の事なんて忘れてしまった。

まとまらない感情は、まとまらない感情のまま、うようよしていて。

半年間当たり前だった日常が、突然当たり前ではない日常に変わった時、
それまであった日常の事や、そこで感じた事や、得た事や、考えた事をどう処理してい
のかわからなかった。

目の前からそれまでの日常が無くなった時、その記憶は“なくなる”しか選択肢が無いと思
っていた。

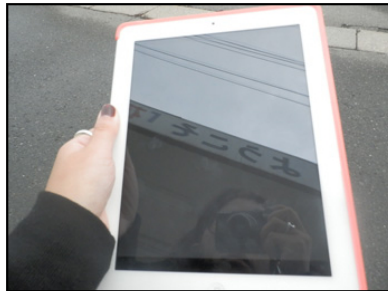
でも、その記憶は“過去”としてカテゴリー分けされて保存され絡めていて、
そっか！！その方法があったんだ~~~~~。と一安心
している。

だんだん日本の時間の流れにも慣れてきました。



旅中あまりにも知らない事が多すぎる。と感じたので、
うようよと広がる自分の内面の感情に付き合っ、感なし沼にハマっている癖があるなら、

その足使って見てこいよと噂をいわれたので
またちょっとだけ旅をします。



カテゴリ:
post by 谷瀬 鈴加 | 日時: 2012.09.26 | [パーマリンク](#)

[183](#) > 2012年09月 アーカイブ

12.09.21

183+7=190

[Tweet](#)

[Check](#)

便利になれるのが稀くて、部屋にある溢れている物を片付け始めた。

必要最低限の物しか手元に無かった生活は、物理的にも精神的にも不必要な物は排除されて行った。

最初は稀かったけど、それはとても気持ちのいいことで、
精神的に抜っていた色々な物も同時に脱く事ができて、

もっと身軽に、心を軽くして生きる事ができるんだと思った。

無駄な物が溢れていると、大事な物も見えにくくなる気がする。

痛手してからそう思った。

消化しなくなって、
今まで身にまとっていた色々な物をもう一度整理して、捨ててしまいたくて、
もっと身軽に大事な事を考えたいし、本当に大事な事を見たい。

生活する上で必要な道具も、生活する上で必要な物産も、
日本で、固定の家で生活するのと、東南アジアで旅をしながら生活をするのでは違うと思
う。

物理的に違うと思う。
そして三週間後、過去になり始めた半年間の記憶も、思い出そうとしないと思わせなく
なるであろうその時になったら、
自分のその突拍子も無い行為を後悔するのかもしれないけれど、

それでも良いと思う。

東南アジアで旅をしていた時だったからそう思うだけだ。
日本での生活は違うんだ。

なんて都合の良い事を言えるのが大人でスマートな事なのかもしれないけれど、私はそれを言いたくない。そうやって割り切ってしまったら、私があのときに感じた事も、考えた事も、あのときに話した会話も、聞いた話も全部、

日本とは違う国だから仕方ない。って心のどこかで思っていた事になるから。偽善者ぶってるわけじゃないけど、結果的にそうなってしまうのかもしれないけれど、

あの時、全身で感じて、頭が重くなるくらい考えて、心が苦しくなるくらい思わされたあの感情が全部“東南アジアに居たときの私”というカテゴリーで分けられてしまう気がするから。

私は全部覚えていて、

あの時あそこに居た私も、今ここに居る私も全て全部わたしだから。

上手く言えないけれど、あっちで感じた事と、今感じている事を、割り切ったりしたくない。

カテゴリ：
post by 谷瀬 諭加 | 日時: 2012.09.21 | [バナーリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

183 > 2012年09月 アーカイブ

12.09.20

183+0=189

[Tweet](#)

[Check](#)

日本に帰ってきて6日が経って、少しずつだけど、日本での生活に慣れてきて、少しずつ過去として喚取される音がある。

それでもまだ、TVをつけるとうるさいと思って、必要以上の情報が一方的に入ってくる事に頭が痛くなる。

そして、きっと私は世界を見ていない。
と思った。

言葉が通じない事を良い事に、言葉がわからない事を良い事に、
自分なりに感じて考えて、理解して知っていった（正確に言えはわかったつもりになっていた）。

旅をしている途中で、それには気づきはじめていて、
旅先で出会う他國の人に「日本は良い国だよー！ー！綺麗だし住みやすいし。」と言
われるたびにひかかった。
私には、そうは思えなかったからだ。
日本の社会は程やかではないし、みんな朝から晩までみっちり働いているし。
疲れた社会に余裕なんてなくて、それは社会問題になっているし。

その時に、私に見えている日本と、他國の人たちに見えている日本にはズレがあって、
同時に私が今いるその國に対してもそれは生まれているんだ。と思っていたから。

旅中に「もっと違う現実があるんだよ。うちらが知らないだけで。」って長山に言われて、「そうか・・・！」と思っていたけど・・・

今は本当にそうなんだなー。って思う。

私はその国に対して、たった4、5日から一週間くらいの通達者でしかなくて、その国の日常の表面の上っ面だけを見たにすぎない。

自分に見えた物を、自分が知れた物を、その国の社会だと認識したにすぎない。

そして、日本は良い国だ。って言われてきたのを、自分なりに解釈した。

日本は、日本人は「ほとんどの人が学校にいける。教育を受けれる。
カーストもないし、医者になりたいと言って努力すれば医者にもなれるし、弁護士にな
りたいと言って努力すれば弁護士にもなれる。
写真家になりたいと言って努力すれば写真家にもなれる。

それは個々の家庭の事情だったり、「努力」という言葉でくくれないくらいの忍耐が必要だ
ったりするだろうけれど、
不可能ではない。実際に、どうすればそうなるのかも知っているし、どうすればそうな
れるのかも、個人の、自宅のPCから簡単に調べることができる。

自分の村しが、知らない人がある。
アメリカ人も日本人も区別がつかない人がある。
近寄ってくる子供はみんな口を揃えて「1ルビー、ペン、クッキー」と言ってくるこ
ろもある。
インドの写真を見せたら「これは日本？」と聞いてきたインド人のちびちゃんがいる。
中国と日本は違うの？と聞かれた事もあった・・・・・・

きっとその人たちからすれば日本は良い国なのではないか？

私に「日本は良い国だ。」と言ってくれた人たちが、何を思っ言ってくれたのかは私にはわからないし、そんなことじゃないよ！！って言われてしまうのかもしれないけど……。

説明のつかない感情はウヨウヨしている訳で、

まっとうやって、旅中に言葉にならなかった感情やら、経験やらが言葉になるうとしてるんじゃないかと思った。

帰国して6日目。
まだ私のFWは終わっていないと思っている。
帰国して6日も経つのにまだそんな事言ってるのー？って言われそうだけれど、

この半年間、日本ではない・・・
日本とは勝手な違う国になじむ為に試行錯誤してきた。

最初は「日本とは違う・・・日本だったらこうなのに・・・」
と思いつけて、言い続けていて、
でもそんな事をしていても何も得られないし、意味が無い。時間がむだになってしまう。
と思って、やめた。

自分が初めて見た知らない世界を、理解する理解しないという言葉では片付けられない・・・
大きな塊のそれを、
日本しか知らない自分の、たった20数年間しか生きていない自分の乏しい言葉に当てはめる方が、色々な事が欠落していってしまう気がしてやめた。

自分なりに理解する事をやめて、自分なりに言葉にするのを辞めて、
目の前に在る物を、目の前に広がっている世界を、ありのままありのまま吸収する事だけに集中した。
その方が、自分が知ってる乏しい言葉で当てはめるよりも何十倍もの事を、得られるんじゃないかと思ったから。

そのときに、日本の常識は、日本を出たら何の役にも立たない事を知った。
国が変われば環境が変わる。
環境が変われば、その感覚常識が変わる。
その変化に対して、日本とは違う、日本はこうじゃない。と言い続けるよりも、
いち早くその変化を理解し、そこでのルールを理解し、それを自分にしみ込ませる事の方が、
そこで生活をするという意味でも、そこで撮影をすると言う意味でも、必要だったから。
日本で培った自分を構成していた感覚を少しでも砕いて、眼の前に広がっている物を少しでもありのまま吸収できるようにしようと努力した。

私の撮影は、スナップだったから、
自分の部屋を出てしまえば、いつでもどこでも撮影が始まった。
旅中に、「谷瀬の撮影スタイルだとオンとオフがつけられなさそう・・・・・・・・・・」
と長山や、井間に言われてきたけれど、

あの時はそれが日常だったから、何も思っていなくて。
それなりに、自分なりにオンとオフをつけていたけれど。
それが日常であり、毎日であり、生活の全てであったから、
今こうして、安心して帰る家があり、不安を抱かずに生活できる環境がある事が、
6日前の自分の置かれた状況とは違いすぎて、ギクシャクしている。

それでもこうやって、文章化してみようとすると、意外と言葉が出てこなかったりして、
少しずつ重要な事がすり替わってきているんだな・・・って感じて、ちゃんとちゃんと
過去として吸収され始めているのを感じる。

カテゴリ：
post by 谷瀬 銘加 | 日時: 2012.09.20 | [バーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

183 > 2012年09月 アーカイブ

12.09.18

183+4=187: わすれることを恐れるな。.....

[Tweet](#)

[Check](#)

日本に帰ってからずっと
この半年にあったことを思い出している。

ストローを破った時、インドのマイソールのピザ屋で使い古して黒くなったストローを出
されて長山と笑った事が、
洗濯物を干すときに、洗濯ひもをかけるところを探す事が、

忘れないように忘れないようにって、色んな事を思い出してはほっとする。

忘れないように忘れないようにって必死で、忘れて行く事がとても怖い。
日本の日常に慣れて、今まで得た全ての事を忘れてしまうんじゃないかってとても怖い。

半年間、日本を離れるのも初めてだったけれど、
半年ぶりに日本に戻ってくるのも初めてだから、

出発してすぐに“ここが日本じゃない”ということに恐れていたように、
“ここが日本以外のどこでもない”ということに無償に悲しくなる。

と言う話を旅の先輩でもあり、FWの先輩でもあり、7期生の引率もして下さった富田
サンに話したら
「わづれることを恐れすぎなんだよー谷瀬ー」
と言われた。
「忘れて行く事は忘れて行くし、覚えている事は自然と覚えているもんだよ。しかも一回
目の旅だから、そう簡単には忘れないよ。」って……

今までの事を、今までの日常を、今まで得た感覚を忘れてしまうのが稀くて、
日本に居ながら、頭の中は日本でない国の事で一杯で、脳みそは常に思い出でいっぱい
に
していて、
日本に戻ってきたのに、日本人の感覚ではない……（かといってどこの国とはいえない
けれど）感覚で日本に属す。
電車の中でキョロキョロしたり、お店の外に出た瞬間の景色（当たり前だけど、日本でし
かないってことに）をみて下を向いてしまったり。
キラキラした大きなデパートには入れなかったり……

なんだか稀くて仕方ないです。

日本に帰ったらやろうと思っていた事がたくさんあったのに、何一つ手をつけられないまま四日かたち、
うち2日は渋谷に行って、家に居る時はたいていベッドの上で悶々としていて、
日本からアジアへ飛ぶ航空券を調べてホッとしたりとか・・・・・・・・・・
ここまで来ると、旅をしに行っていたのが、写真を撮りに行っていたのがわからなくなっ
てきたりしたが・・・・・・・・・・。

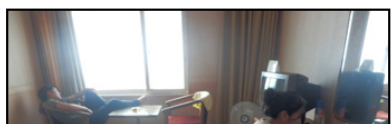
旅のFWの大先輩に話をしたら、自分が考えていた事の顔の上でセンチくらい先のことを
言われて、
あーやっぱり沢山の事を経験してる人の視野は広い・・・・・・・・！！！！！！って改めて
おもったりとか、
いろいろと気づがつかされている最近です。

あまのじゃくなのが、ぶっきらぼうなのが、素直じゃないけなののが、
近しい人に会えば会う程“ここは本当に日本なんだ”っていうのを強く感じ、
今までの事話してしまえばしまうほど、自分の感覚が日本に戻りそうで怖くて話せない。

帰国して三日目に「日本に帰ってきてからずっと元気がないね。」と言われて、大変も申し訳なくなった。

日本での息の吸い方を忘れて、室内にいるのに井関も長山も居ない事に違和感を感じて、今すぐ飛び出したい気持ちでいっぱい。

情報量が多くて外に出るのが怖い。
一回のレジでマシンガントークのように一方的に話されるレジお姉さんの営業トークに昨日初めて恐怖を感じた。笑





当たり前が、当たり前のように目の前からすり替わってしまった時、
それにすくさまに適應できる事が良い事なのか、適應できずにするすると引きずっている
事の方が良い事なのか、わからない。

日本 / 埼玉

post by 谷瀬 鈴加 | 日時: 2012.09.18 | [バナーリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

カテゴリ:

[183](#) > 2012年09月 アーカイブ

12.09.15

183 + 1 = 184

[Tweet](#)

[Check](#)

痛国二日目
想像していた以上に辛い。

道路は綺麗に補正されているし、全部アスファルトだし。

車は車線を守って走っているし、安全運転だし、
バイクばかりじゃないし、タクシーはメーターだし、バイクもトクトクもないし、

通りすがりに挨拶される言葉も「ナマステー」でも「ニーハオ」でも「アニョハセヨ」
でもなくて

周りの人が話していることも理解できるし...
目に入る言葉も理解できてうるさく感じる

日本語が溢れてる...
情報がたくさん流れていて頭が痛くなる

安全だし、安心だし、便利だけど
安定して行く日々と感覚に不安が生まれる。

力を抜くとあまりにもナチュラルに戻ってくる日本の感覚に、今まで見てきた世界を忘れて
しまらんじやないかって...怖い.....

この半年見てきた日常と
今日の前に広がっている日常の違いに

心と頭がギクシャクしてる。

そして、今日電車で乗りながら考えていたけれど・・・。
今まで過ごしてきた半年と、日本で過ごしている時に使っている脳みそは違うんじゃないか・・・？と思った。

今までは、見た事の無い景色、街並、人、匂い、社会に反応し、その世界にどうしたら早く適応できるかを考えて過ごしていた。
誰が偉くて、国民の大半は何の宗教に入っているのか？とか、
人々の着ている服、しているメイクには意味があるのか？とか、
食べる物は？飲む物は？とか・・・

色々気づかされて考えさせられる事が沢山あった。
写真を撮る上でも、自分が何に反応し、どこをどう撮っているのか？
とか……

感じる事が軸になって、そこがキーワードになって撮影もしていたし……

何より、感じられて気づける事が、撮影する面でも生活する面でも基盤になっていた。

けれど、日本での生活は、当たり前な事を当たり前になす事から始まり（学校に行くとか、家から駅に行くとか）・・・
そうすると、何を感じて、どう考えたかっていうよりも、
なにをどうすればもっと上手くこなせるのか？
効率がよくなるのか？
ということを考え始める。

毎日のように繰り返すことだから、何を感じるといふ事自体が難しい事なのかもしれないけれど、
感じる事よりも、考えて効率よくこなす事の方が重要になってしまう・・・。

だから、多分生活する上で、必要とされる力が違ってくるから面白いと感じるんだと思う。
効率などを考える事よりも、感じる事が重要になってくるから・・・・・・・・

ぐだくだいってって、ここは「日本」だし、
ここから少なからず半年は居なくなれない事は決まっている訳で、
それならそうと「日本を楽しもう！！」と気持ちを切り替えたいけれど・・・・・・・・
今はそこまで行ってない・・・・・・・・。

楽しむ事に努力する事で、忘れてしまう事が、今はとても怖い。

あと、三週間したら、全然違うことを言っているんだろうな。

今しかこれは感じられないんだなと思ったら、思う存分引きまじろうと思った。

時間が経ったら、嫌でも説明がついて過去になってしまうときが来るだろうから。



半年前にソウルで書いた半年後の自分への手紙。
まるで半年後の自分を見送かしているような内容で、少しだけときっとした・・・。
ソウルに入ってすぐに書いたものだったけれど、確実に日本との違いに気がついていてち
ゃんとFWが始まっていた。

日本 / 埼玉

カテゴリ:

post by 谷瀬 銘加 | 日時: 2012.09.15 | [バーマリンク](#) | [コメント\(Q\)](#) | [トラックバック\(Q\)](#)

183 > 2012年09月 アーカイブ

12.09.14

183:今日がさいご。

[Tweet](#)

[Check](#)

2012年09月16日より

183日が経ちました。

谷瀬は先ほど、無事に実家へ帰る事ができました。

大阪港について、富田先生と見送りに来てくれためいこと再会しても、
日本なのか・・・
という実感があまり湧かず・・・
皆で新幹線に乗っても、日本なのか・・・
という実感が余り湧かず・・・

東京駅に着いたとたんに、
“日本国に喜いた”という感覚になりました。
せわしなくまく人の片手には携帯が握りしめられていて、
大半の人が電話をしながら歩いている・・・

「遅くなりましたすみません！！」と言って待ち合わせ場所に走ってくる人と、
「いえいえー大丈夫ですよ！」と答える人……………。

人の盛衰に関係なしに歩いてぶつかり合う人たち……………。

ああ、ここは本当に日本なんだ・・・と思った。
「日本に帰ってきた」というよりは「日本国に来た」という感覚の方が強い。

東京駅では、人の多さと周りに居る人の会話が全部理解できるから、うるさくて・・・
斜め下を向いて歩いた・・・

「ここが日本か……。本当に日本か……。」と繰り返しつぶやいて
一つ一つにびっくりする。
何も変わっていない駅前風景に
「すごい！すごい！全部知ってる！！！」と驚けば
工事を始めてかわりつつある家までの道に、
「え！？工事してたの！？」と驚き……

家に着けば、リフォームされた家に驚き（出発前には終わっていたのだけど……）
全自動のトイレに驚き。フワフワの絨毯に驚き。
変わらず取らかっている部屋に驚き……。
何も変わっていない冷蔵庫の中に驚き……。
何も変わっていない家具に驚き……。
いつもと変わらない風景に驚き……。
何も変わっていないのに、時間はきちんと経っているんだな……ということに驚き。

いちいち色んな事に驚き感動します。

日本ってすごいです。
日本のクオリティってすごいです。
たいてい美味しいものが売っていない・・・・・・
お金を払えば、在る程度の美味しさは保証されている・・・・・・。

それって本当にすごい事。

日本すごいわ・・・・・・。

SAITAMA/Japanより

post by 谷瀬 銘加 | 日時: 2012.09.14 | [ホームリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

[183](#) > 2012年09月 アーカイブ

12.09.13

182

[Tweet](#)

[Check](#)

明日、日本に帰る。

なんだか不思議な感じ・・・

この旅が終わる事を頭では理解していたし、気持ち的にも整理がついてはず・・・なのに。

日本で待っている生活が怖い。
それは、今こうしてこっちの生活(旅をしている)の方が日常化してきて、毎日になっていて・・・

日本での生活が"非日常"になっている。

この、今感じている"怖い"という感覚は半年前に日本を出るときの感覚に似ていて、今まで過ごしてきた環境からの変化に対する物・・・・・・。

それもまた不思議なはなしで、
"日本に帰る"というよりは"日本に行く"という感じで、
"日本で固定の場所に住んで、長期間生活する"という感覚……。

最初の最初は安心して息をする事もできなかった（自分が安心している精神状態で息をする事もできなかった）。
どこにいても異国感という感覚が抜けずに、不安で不安でしかたなかった。
“安心して息をする”というレベルで毎日を送る事が困難な生活はもう……

ないのか？

不安で不安で仕方なくて「助けて」と言ってで泣いて電話したいけど、そんな事をしてどうにもならない事をわかっているから、

もうこれは「今」は自分で解決するしかないしかないんだ。と思って言い聞かせてきた事が何度もあった。

不安で不安でしかななくて、こわくてこわくてしょうがなく、
もう、今にも日本に帰りたいと思ったことも何度もあった。

でも、乗り越えるしかななくて自分で解決するしかななくて、
誰に頼っても、誰に救ってもらおうと思ってもできるわけなく、
もう、本音に自分との戦いだった。

痛い程現実をみて、
痛い程自分と向き合わされた。

自分の力量を何度も何度も試され、逃げるという答えは用意されてなかった。

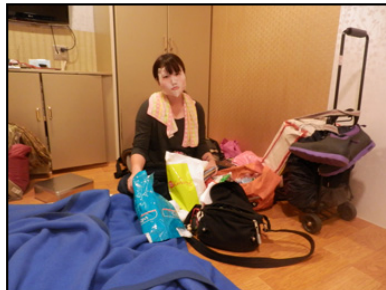
その半年が終わる。
その半年が本当に終わる。

今はこの終わる半年に不安を抱いていて、
終わる日常に不安を抱いていて、

怖いと言う表現の方が正しいと思う。

半年前は終わる半年後の事なんて想像ができなくて、
これから始まる未来に想像ができなくて、

たくさん怖いとおもったけど、
今は日本に戻る事が怖い。



日本帰国に向けて／パンスタフェリーより

カテゴリ:
post by 谷澤 鈴加 | 日時: 2012.09.13 | [パーマリンク](#)

183 > 2012年09月 アーカイブ

12.09.05

173:ラスト.....9日.....

[Tweet](#)

[Check](#)

この半年間で、四回マレーシアに入国し、

この半年間で二回目のタイ、台湾にいます.....

フリー、二カ国目
正直焦っています。

タイからがらっと雰囲気が変わり、ぐっと日本に近づいた感覚が得られる台湾。

視覚的なことから感覚的なことまで、刺激というよりは、ホッとする事が多い。

安心するけど、日本とはやっぱり違う。

何かに反応してシャッターを押したいけど、安心する感覚の方が強くて、反応が鈍って
る・・・。

そして前半のスクーリングで言われた「知らない事は罪だと思え」という言葉が頭の中
をグルグルグルグルしてる。
「自分が知らないということは、存在していないってことなんだぞ？」って、

カメラの設定もいつもと変わらないし、外に広がっている世界も今までと何も変わりない
のに、自分のテンションでこんなにも、目の前の世界が変わって見えるのがっ
て・・・。

目の前の世界がつまらない事なんて何もなくて、私がただ焦ってるだけ。

ただただ焦く事ばかりです。

あひゃ。

台湾で久しぶりに井関に会いました。



台湾／台北より

post by 谷瀬 録加 | 日時: 2012.09.05 | [ホームリンク](#) | [コメント \(7\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

カテゴリ: